

# 性に関する意識調査（ダイジェスト版）

千葉市女性センターでは、平成14年度の事業として、「性に関する意識調査」を実施しました。これは、性やからだに関して、現状における意識を調査し、今後の施策のための基礎資料とすることを目的としています。

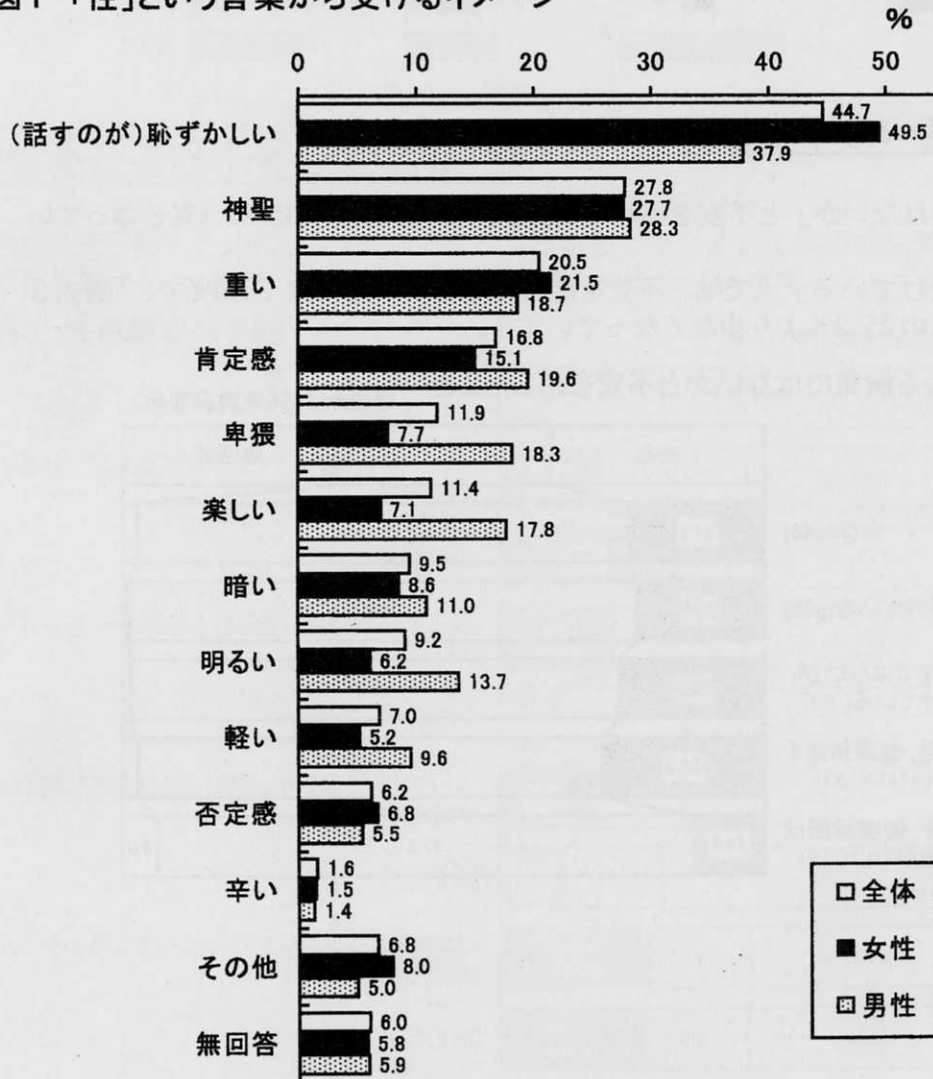
このダイジェスト版は、本調査の概要をとりまとめたものです。

調査の区域	千葉市全域
調査の対象	千葉市在住の満20歳以上の男女各1,500人
調査の方法	郵送による配布と回収
調査の期間	平成15年1月10日～1月31日
回収状況	有効回答546票、(有効)回答率18.2%

## 「性」という言葉のイメージは？

「性」という言葉から受けるイメージは、全体では、「(話すのが) 恥ずかしい」が最も多く、次いで「神聖」「重い」となっています。「(話すのが) 恥ずかしい」では、女性の方が男性より多く、「肯定感」「卑猥」「楽しい」では男性の方が女性より多くなっています。

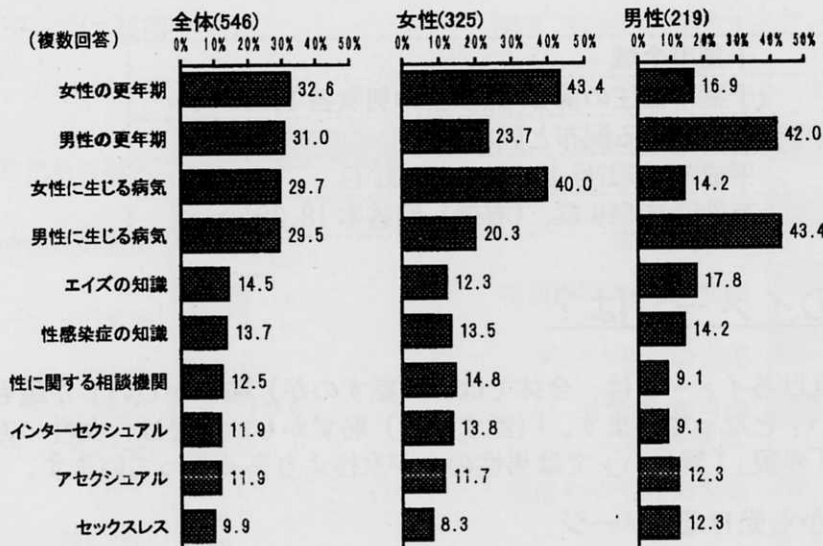
図1 「性」という言葉から受けるイメージ



## 「性」について知りたいことは？

「性」について知りたいことでは、女性では「女性の更年期」と「女性に生じる病気」が多く、男性では「男性に生じる病気」と「男性の更年期」が多くなっています。全体では、次いで、「エイズの知識」、「性感染症の知識」となっています。

図2 「性」に関して知りたいこと

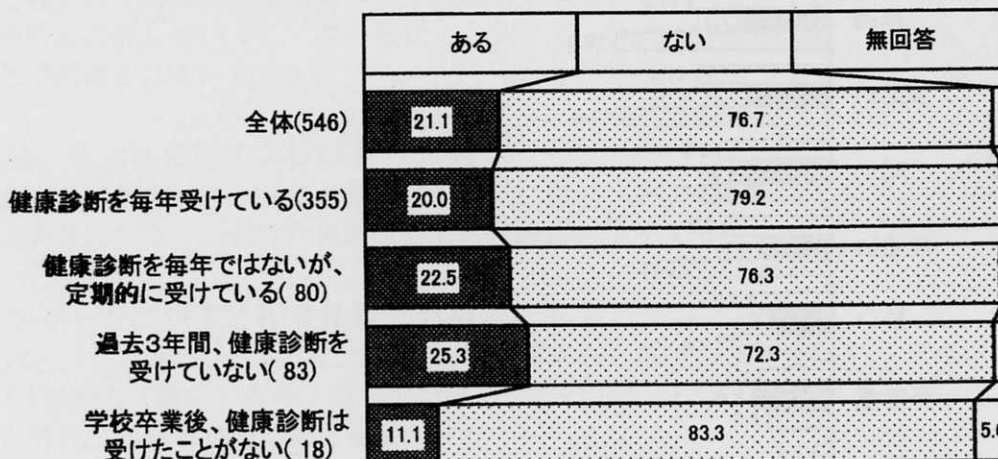


## 性に関わる病気への不安は？

「性に関わる病気ではないか」と不安を感じたことがある人は全体では21.1%となっています。

健康診断を「毎年受けている」人では、不安を感じたことがある人は20.0%で、「過去3年間受けていない」人の25.3%より少なくなっています。

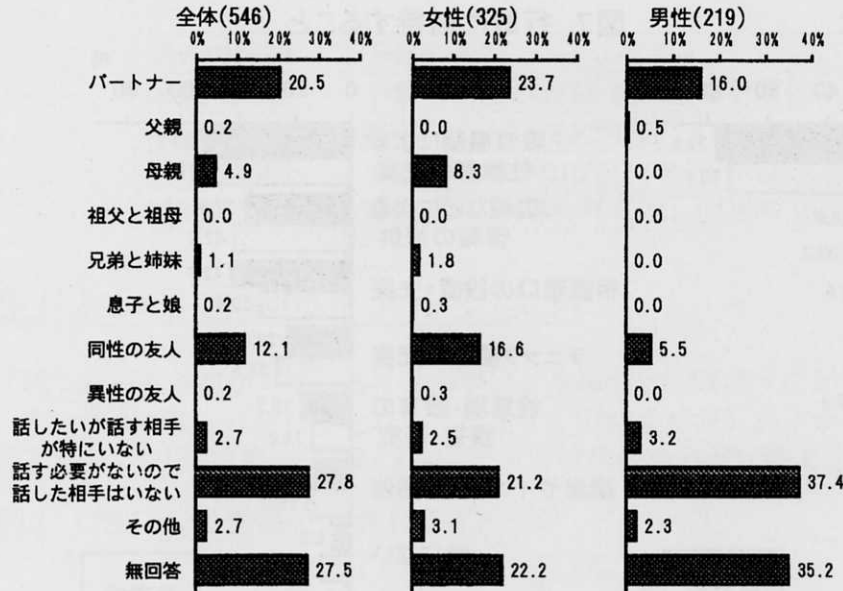
図3 性に関わる病気ではないかと不安を感じたこと 単位:%(5%未満非表示)



## 病気等の不安を相談した相手は？

女性も男性も「話す必要がないので話した相手はいない」が全体で27.8%と多くなっています。しかし相談した人についてみると、男女とも「パートナー」(女性23.7% 男性16.0%)が多くなっていますが、女性では「同性の友人」(16.6%)も多くなっています。

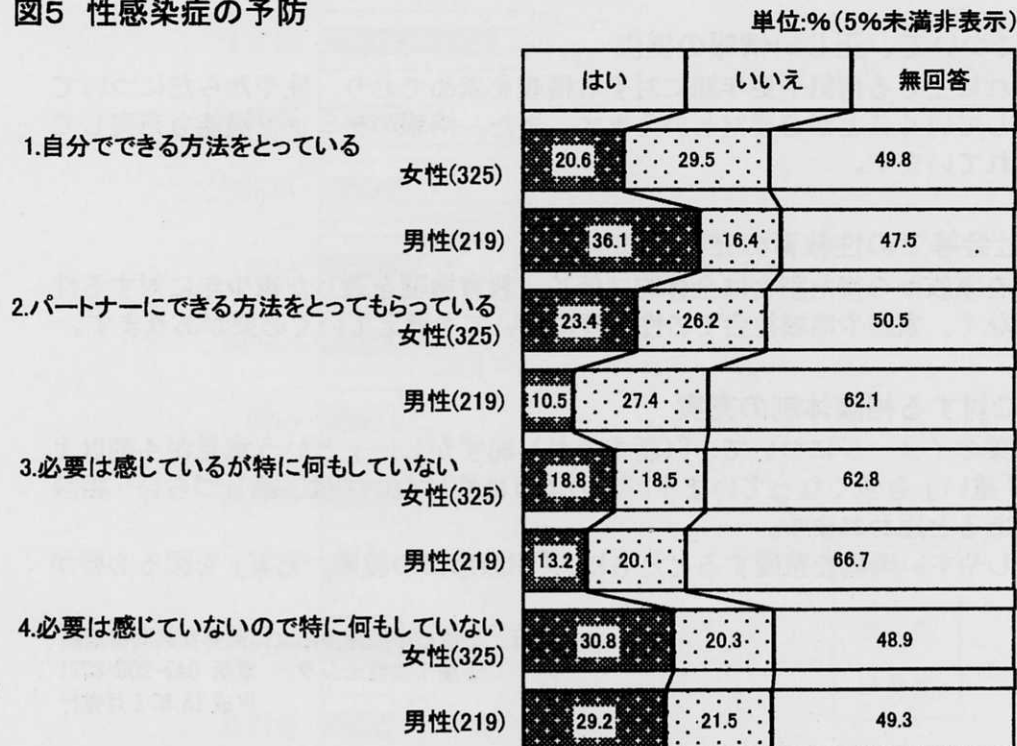
図4 相談した相手:生殖器に関する病気等の不安について



## 性感染症予防のための方法は？

性感染症予防のために、「自分でできる方法をとっている」人は男性に多く、「パートナーにできる方法をとってもらっている」は女性に多くなっています。

図5 性感染症の予防



## メディアや行政への期待は？

性やからだの健康について、メディアに期待することでは、「正確な情報」、「チェック機能の充実」が男女とも多くなっています。また行政に期待することでは、男女とも「教育機関による性教育の充実」が最も多く、次いで男性では「広報などによる情報の提供」が、女性では「相談窓口の設置・充実」が多くなっています。

図6 メディアに期待すること

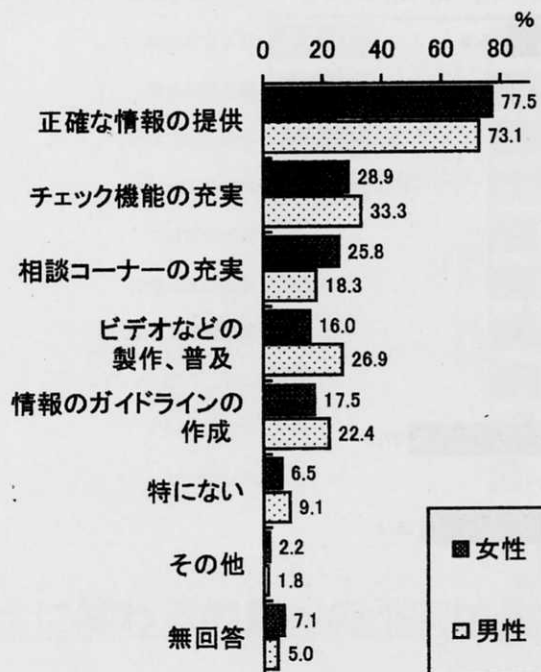
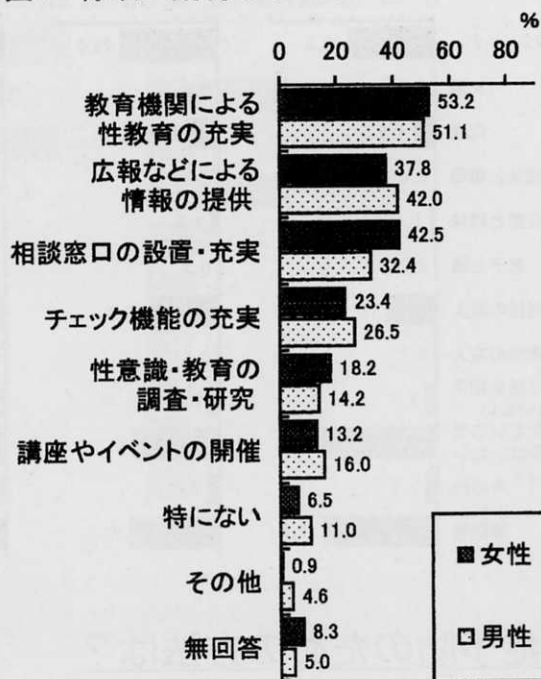


図7 行政に期待すること



## 今後の課題について

### ① 性やからだについて、正しい情報の提供

男女ともそれぞれに生じる病気や更年期に対する情報を求めており、性やからだについて正しい情報を提供していくことが必要だといえます。また、情報のチェック機能も充実していくことが期待されています。

### ② 家庭、地域社会等での性教育の充実

性に関する情報を家族から得た割合は全体的に低く、教育機関を通じた青少年に対する性教育の充実だけでなく、家庭や地域社会での性教育についても考えていく必要があります。

### ③ 性やからだに対する相談体制の充実

「性」という言葉のイメージについて、「(話すのが) 恥ずかしい」という意見が4割以上を占め、「神聖」、「重い」も多くなっています。このように性については、話しづらい・相談しづらい雰囲気があると思われます。

このため、相談しやすい環境を整備するとともに、「相談窓口の設置・充実」を図る必要があります。

発行：千葉市市民局生活文化部男女共同参画課  
千葉市女性センター 電話 043-209-8771  
平成 15 年 3 月発行